

各位

SHINSEI SUSTAINABLE
IMPACT ASSESSMENT


株式会社 SBI 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 川島 克哉
(コード番号:8303 東証プライム市場)

【サステナブルインパクト】子育て世帯等向けアフォーダブル住宅を支援する新生ソーシャルローン実行について ～国内初の官民連携ファンドによるアフォーダブル住宅供給を後押し～

株式会社 SBI 新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長:川島 克哉、以下「SBI 新生銀行」)は、野村不動産投資顧問株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:片山 優臣、以下「野村不動産投資顧問」)がアセットマネジャーを務める合同会社アフォーダブル・コア1(以下、「借入人」)向けに、2026 年 4 月 14 日付および 2026 年 8 月 27 日付で証書貸付を実行しました。なお、本ローン全額が「SBI 新生銀行グループソーシャルファイナンス・フレームワーク」に適合する「新生ソーシャルローン」※1 に該当します。

借入人は、東京都が推進する子育て世帯等向けアフォーダブル住宅※2 の供給を目的とした「官民連携アフォーダブル住宅供給促進ファンド」(以下、「本ファンド」)によって設立された事業体です。本ファンドでは、野村不動産株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:松尾 大作、以下「野村不動産」)および野村不動産投資顧問が運営事業者を務めており、京王電鉄株式会社(本社:東京都多摩市、代表取締役社長:都村 智史)も、共同出資者として参画しています。

借入人が取得した賃貸マンションの一部住戸は、子育て世帯等を対象にアフォーダブル住宅として供給されます。本件は、子育て世帯等の居住の安定や生活環境の向上を支援し、安心して子育てができる環境整備に貢献するものであり、政府が掲げる「こどもまんなか社会」の実現にも資する取り組みです。

SBI 新生銀行グループは、2025 年度からの中期経営計画において、中期ビジョン「次世代の金融、共に築き切り拓く未来」を掲げ、「サステナビリティ経営の深化」をその基本戦略のひとつに位置付けています。今後も、環境・社会課題解決に取り組むお客さまと連携し、「事業を通じた環境・社会・お客さまへの長期的な貢献」と「当行グループの持続的な成長」との好循環を実現してまいります。

＜SBI 新生銀行サステナブルインパクト評価室による新生ソーシャルローン評価の概要＞

借入人	合同会社アフォーダブル・コア1
貸付極度額	46 億円
資金使途	アフォーダブル住宅の供給を目的とした賃貸マンション 3 物件を裏付けとする不動産信託受益権の取得費用等
主な社会的意義	子育て世帯の観点:一定の広さや住環境の質が確保されたアフォーダブル住宅への入居によって「日々の生活への安心感」「子供の生活や学習環境の安定化」等が見込まれる
社会的インパクトと社会的課題との整合性	SDGs では主に「目標 1:あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」、「目標 10:各国内及び各国間の不平等を是正する」、「目標 11:住み続けられるまちづくりを」に貢献すると評価した
その他の評価ポイント	野村不動産投資顧問は、アフォーダブル住宅の供給を通じて子育て世帯等が安心して居住できる住宅を確保することを企図しており、本件は野村不動産投資顧問の経営方針やマテリアリティ等と合致している

※1 新生ソーシャルローンは、特定の社会課題への対処やその軽減に資する事業や、社会的インパクトをもたらす事業に資金使途を限定したローンです。SBI 新生銀行グループソーシャルファイナンス・フレームワークについては、下記 URL をご参照ください。

https://www.sbishinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/green/

※2 東京都におけるアフォーダブル住宅の詳細は以下 URL をご覧ください。

<https://www.juutakuseisaku.metro.tokyo.lg.jp/information/topics/r8/02/20260206100>

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行サステナビリティ&コミュニケーション統括部

報道機関のみなさま SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp

株主・投資家のみなさま SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp